

PRESTO® W80

5 Lのガラス反応容器で
+20 °C から +50 °C間を加熱運転

目的

このケーススタディでは、PRESTO® W80 の加熱能力を5リットルのガラス反応容器でテストします。
W80 は1mのメタルチューブで接続、+20°Cから+50°Cに加熱するようにプログラムされています。

環境

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	230 V / 50 Hz



テスト条件

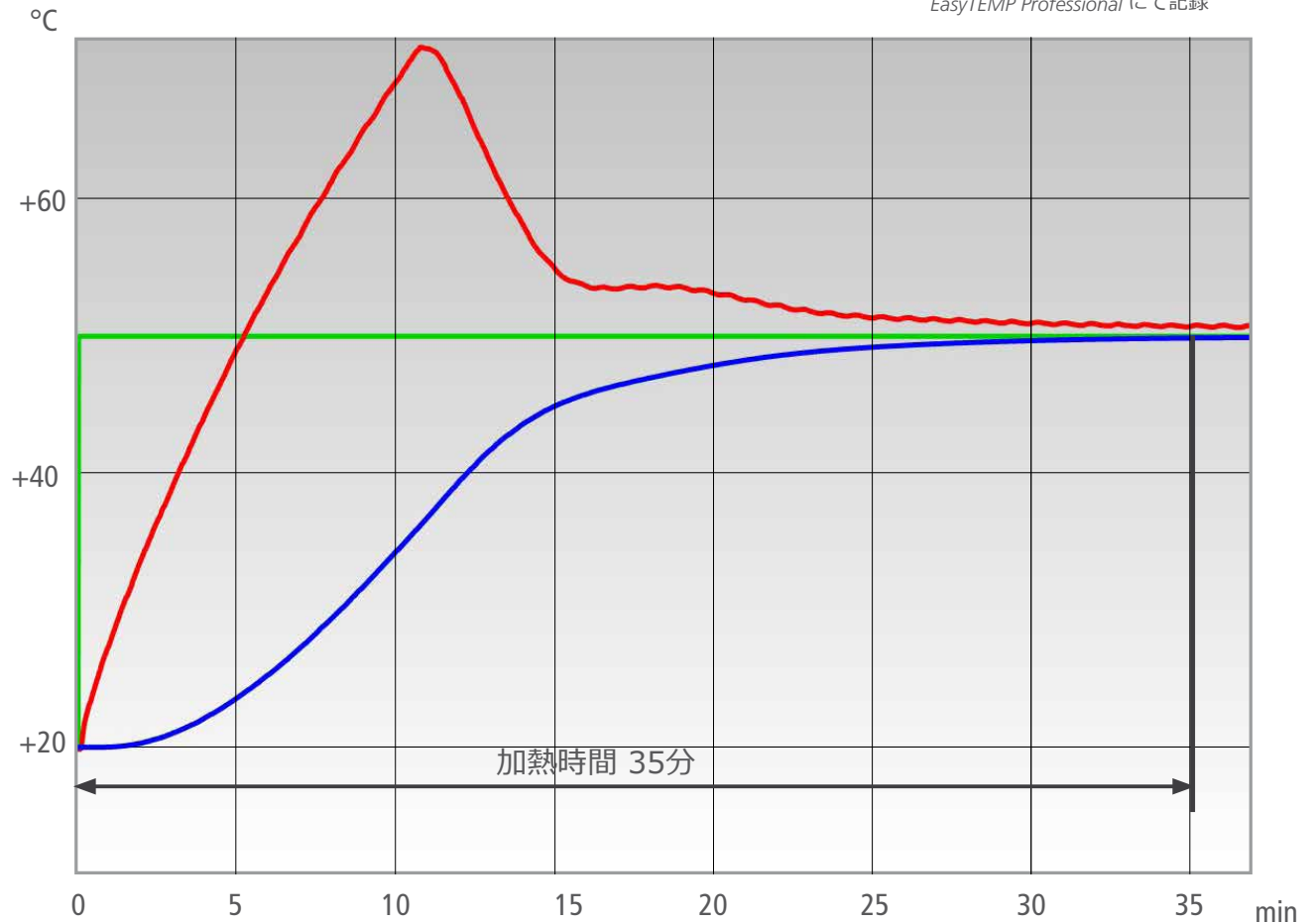
ユラボ装置	PRESTO® W80
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW -20 °C 1.1 kW
加熱能力	1.8 kW
バンドリミット	無し
吐出圧力	0.4 bar
循環液	ユラボ サーマルHL80
反応容器	5Lガラス反応容器 (Rettberg社) に ユラボ サーマルHL80を5L充填
ジャケット容量	2.5 L
制御	外部温度制御 (ICC)



テスト結果

PRESTO® W80 の加熱プロセスは+20℃から+50℃まで35分でオーバーシュートすることなく到達しました。

EasyTEMP Professional にて記録



- 設定温度
- 反応容器内温度
- 反応容器ジャケット温度

オプション機能

オプションのエルボアダプターを使用すると、チューブがねじれません。



オプション機能

強健なPTFEコーティングのpt100センサーを使用することができます。

